

LEADERSHIP CHALLENGE

大隈塾LCレポートvol.05

大隈塾リーダーシップ・チャレンジは8月5日（土）、第5回目の授業となるワークショップ「グローバル・コミュニケーション」を行ないました。

講師の本間正人先生は、コーチングやファシリテーション研修の第一人者。ほとんど日本語を使っのグローバル・コミュニケーションのトレーニングで、「グローバル=心が広い」という定義なので、まずは日本語で既成概念を取り去ること—しかも楽しみながら—からはじまりました。

そして最後には、「英語を使うとしても、自分たちが知ってる単語だけで、十分にグローバル・コミュニケーションができてしまいますよ」、という実証実験のようなワークショップでした。

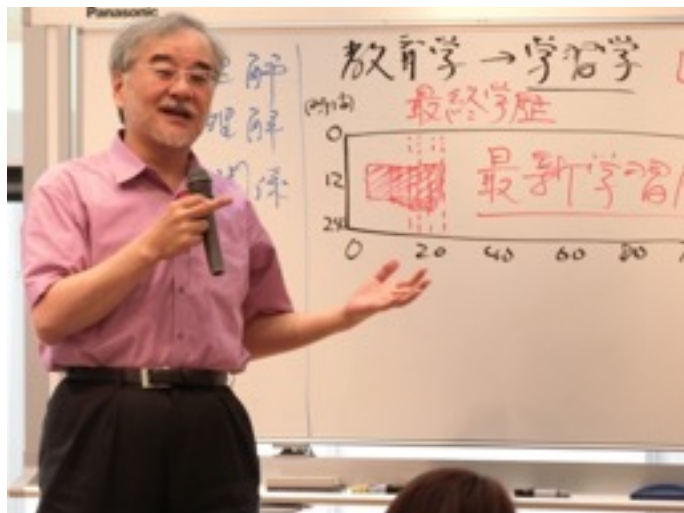
今回のワークショップの目的は、5つ。

- (1)「グローバル」とは何か、基本から考え身につける
- (2)「学ぶ」とは何か、基本から考え行動に移す
- (3)「傾聴」のスキルを身につける
- (4)「右脳」をくすぐる：共感を生む、心を動かす
- (5)「英語はニガテ」を克服する

まず、英語そのものを学ぶには「e-learning」で十分であり最適だ、と。いつでもどこでも学び直すことができるし、「学び直す」ことを繰り返すことが大事。

それは、すでに確定している「学歴」に対して、更新し続けられる「学習歴」であり、「学習歴」のバージョンアップ（アップデート）が重要だと、学ぶ姿勢を正しました。

その上で、「グローバルってどういうこと？」になります。



グローバルとは、

- ・心が広い
- ・多様性（違い）を受け入れられる

この定義が実は、上記の＜今まで自分が勉強してきた方法、勉強の仕方、勉強そのもの＞の多様性（違い）を見直すことにつながります。

- ・教育（teaching）
- ・学習（learning + coaching）

<teachingからlearning + coaching>

このあたりで、どうしても強く意識していた「グローバル＝外国人、外国文化」の呪縛が解かれ、「グローバル＝一人じゃなくて、いろんな人と」という方向に考えが変わってきます。

さらに、「コミュニケーションってどういうこと？」

- ・相手への理解を深めることで、自分への理解も深まる
→先入観や固定概念、思い込みを減らしていきます
- ・人間関係に影響を与える
→むしろ「非言語」＝表情、動作、声のトーン、視線、距離の影響力が大きい
- ・信頼関係を築く
→このように、気づきが連鎖していきます。

ところで、「ブラインド・ウォーク」をやったことがありますか？

2人1組のペアになって、1人が目をつぶり、もう1人がその人を誘導して歩いてもらう、というアクティビティです。

- ・誘導者「もうちょっと右」＝見えてない人にどれだけ「もうちょっと？」
- ・誘導者「ここで左に」＝急に指示を出されても困ります
- ・誘導者「5m先に階段がある」＝Aさんには12歩が5m、Bさんにとっては10歩が5m
- ・目をつぶっていても光と影がわかる→不安になる
→信頼が大切→コミュニケーション量を増やす

いいコミュニケーションとは、「なにもないときにとるコミュニケーション」。問題が起こったときにコミュニケーションをとるのは当たり前であって、現状（いまどこにいるのか）、目標（どこに行こうとしているのか）を結びつけて、目標＝ビジョンを持っていない人にビジョンを示し、伝え、共有する。リーダーシップの基本が「ブラインド・ウォーク」にありました。

こうして講義＋アクティビティを繰り返すこと7時間。お昼ごはんやコーヒープレイクをはさみながらでしたが、まさに「あっという間」でした。大隈塾のメンバーそれぞれが職場に持ち帰って、翌日から実践できるワークショップとなりました。

そして「outputは笑顔になる」（本間先生）。ディスカッションを多用する大隈塾では（学部の大隈塾はもっと）笑いが絶えません。それは「outputは笑顔になる」からだと気が付きました。さらに、ある受講生がこう言います。「会議に笑顔がないのは、会議中一人しかoutputしてないからだったのか」と。

【受講生のレポートより】

当初、英語を学ぶ講義かと思って臨みましたが、全く違っており、目から鱗の内容でした。グロコミ（グローバル・コミュニケーション）とは「心が広こと」「相手を受け入れること」であり、世界共通であることが理解出来ました。コミュニケーションの取り方について、実演（アウトプット）しながら効果を感じることが出来ました。今までの自分自身を反省し、早速今回学んだことを意識して実践したいと思いません。

「最終学習歴」「Pre-Success」という言葉が、自身にとってはとても新たな視点で心に残る言葉でした。人事の仕事をしていると、最終学習歴を目にすることが多いのですが、社会に出て会社で何を学び吸収して成長するかが一番大切であるなかで、「最終学習歴」というワードを目にして、改めてその認識を再

確認するとともに、日々学ぶことの重要性を組織にも伝えていけたらよいと思います。また、「ミスでなければ失敗はしてもよい」と耳にしますが、どうしても「失敗」という言葉にはネガティブな要素を感じてしまうのですが、「Pre-Success」と捉えることで失敗の積み重ねが成功に繋がるということがワードからも良く分かり、とてもいい表現だと思いました。

「ヒトはActive Learnerである。」という言葉が腹に落ちました。

自立型の人間であるために、自ら課題を認識し、解決できるスキルを持てるようになるべきと再認識しました。今回のグロコミの講義が自分にとって最新学習歴となりました。与えていただいた教養やスキルを実践していきます。

本当に楽しく学ばせていただきました。ありがとうございました。

とにもかくにも面白く、楽しかった。もしこの先英語を話せるようになれば、間違いなくこの講義で本間先生に出会えたおかげです。

「グローバル」というワードから海外や英語を想像して心許なくこの日を迎えたが、冒頭で「=心を開くこと」と聞き一気に興味が増した。言語が通じないことはある種の側面に過ぎず、「=心が通じていない」ということであり、言葉や環境、立場も越えて心を通わせることこそがコミュニケーションなのだ気づくことができた。

5度目を終え改めて振り返ってみると、大隈塾はいつも「ダメ認識」からスタートせず常にモチベーションを上げる講義を用意してもらっていると感じた。

職場はもちろん、社会全体にこうした関係性を広めていけたら、誰もがポジティブに成長していけるだろうと思った。

傾聴（共感欲求と有能性の証明欲求）によるヒーローインタビューのところが一番学ぶところが多かった。自分の自慢をべらべら話したいところをぐっとこらえ（話題を結局自分のところに持って行くような上司にならないように）、相手の話ひたすら聞く（意見や自分の話は挟まない）ことが重要であることが特に実践したいと思った。他者紹介（コイツすごいんだよ）も活用したい。

（ブラインドウォークで）目をつぶって指示を待つときは不安でしたが、今の状況を説明してもらうこと、予告してもらうことで本当に安心でき、指示を受ける側の気持ちがよくわかりました。常日頃から周囲との情報共有が大切だと実感しました。

また、様々な雑学や言葉の語源などを教えていただき、特にその中でも「リーダー」という言葉の意味はコミュニケーションの回路をつなぐ、という意味と知り、どうしても中心になって引っ張る、というイメージがあったため、目から鱗でした。色々な考えをもつ人の気持ちをつないで、成果に結びつけることのできるリーダーになりたいと思いました。

非言語のコミュニケーションについて多くの言及がありました。過去の講義においては、言語コミュニケーションをいかに浸透させるかという点で見るとも多かったです。非言語の情報量の多さを再確認したことは、グローバル・コミュニケーションにとどまらずビジネスにも大きく活用できると感じました。

講義を通して、様々なことにはっとさせられることが多かった。いかに物事を自分中心に当たり前のこととして認識していたと考えさせられた。

例えば「1本、2本、3本、4本・・・」の読み方、右利き中心の物の作り方、指摘を受けて初めて気が付いたことばかりだった。いかに普段、マイノリティに対して配慮が欠けていることを認識した。マイノリティを当たり前と考えている中で多様性の特長に気が付き受け入れることの難しさを感じた。

=====
眼を瞑って歩くという不慣れな行為に萎縮し、肩に余計な力が入る。実際、歩き始めると、車道から5mも離れているはずだが車が迫ってくる感じがする。近くから工事の音がして、何かが顔に飛んで来そうな杞憂さえ。

周りに歩行者はいるのか、坂なのか、階段なのか、溝はあるのか、そもそも自分は今どこにいるのか、どこに向かっているのか。

不安感を煽るスイッチを自分で入れて、それを自分で増幅させる。

少し慣れた頃合いに、誘導者に前触れもなく「ストップ!」と指示されるとまた体は硬化してしまう。終始こちらがテンパっただけに、誘導者側が余裕をもってガイドしてくれたのが、心底有り難い。

表情が見えないだけに、話し手の声のトーン、口調、話すスピードが相手に安心感を与える要素として非常に重要であることを再認識する。



大隈塾リーダーシップ・チャレンジレポート vol.05

2017年8月21日発行（通算36号）

大隈塾事務局（一般社団法人ストーンスープ）

村田信之 mura@ta2.so-net.ne.jp

153-0044 東京都目黒区大橋2-16-35

tel:050-3558-7527

mail:ookuma_school@stonesoup.tokyo